



494

2019 | 8 | AUGUST

car MAGAZINE

Magazine For Those Who Love Historic And Sport Car

CONTENTS

- 004 アルピーヌA110 Sサプライズデビュー
- 012 MERCEDES-BENZ G550
オーバースペックの地平線
- 019 巻頭コラム



- 024 **TOP ISSUE 1: PHILOSOPHY OF CITROËN 2CV**
哲学的自動車との生活
- 026 1955 2CV AZ / 人もクルマも原点回帰
- 030 1989 2CV FOURGONNETTE / フルゴネットでなくてはならないわけ
- 034 偉大な"ブリキ小屋"の歩み
- 036 FROM CURATOR'S EYES
シトロエンを中核にしたフランス車
- 042 **TOP ISSUE 2: LET'S RIDE ON "SUPERCAR"!**
今乗りたいスーパーカー
- 044 フェラーリ308 GTS / "地味色フェラーリ"のススメ
- 048 ロータス・エスプリ・スポーツ300 / ニューシェイプ・エスプリが買い時
- 052 ホンダNSX / 初代NSXを街乗りで愉しむ
- 056 ミッドシップ限定、今こそ乗りたいスーパーカー
- 059 SCUDERIA 最新号のお知らせ

cover story



1955 CITROËN 2CV AZ

かつてはミニとかチンクエチェントとかビートルとかあるいはスバル360とか、物心がついた時には既に作られていて、そのままずっと作り続けられているクルマがいくつもありました。2CVももちろんそう。今年で100周年という節目を迎えるシトロエンですが、その歴史の中で実に42年間、このクルマは作り続けられていたわけです。そんな"自動車史の奇跡のひとつ"と共に暮らす人生に、実は今でもひそかに憧れているのです。(長尾)

owner: Akio HARASHIMA
photo: Satoshi KAMIMURA